

## クオリティインディケーター（QI）成果報告 〔循環器内科〕

### 指標名

退院時リハビリテーション指導実施数

### 目標・ゴール

循環器疾患治療のため心臓リハビリテーションを実施した入院患者において、退院時におけるリハビリテーション指導の実施数を年間 500 件以上に向上させること。

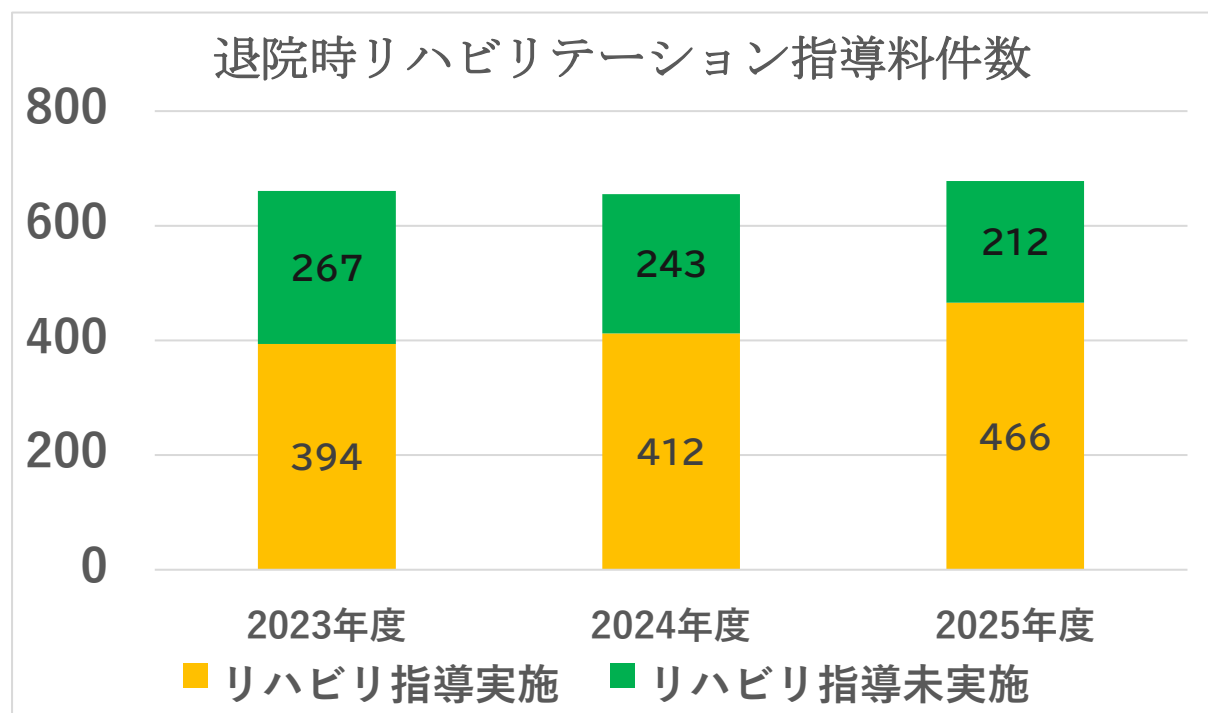
### 目標・ゴール達成による効果

患者の退院後の生活の質の維持、向上。

### 目標・ゴールに対する成果の状況

目標：500 件

2023 年度 394 件→2024 年度 412 件→2025 年度 466 件



## 目標・ゴール達成度

- S : 大幅に目標を上回った
- A<sup>+</sup> : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B<sup>+</sup> : 目標を少し下回った

### ☑B : 目標を下回った

- C : 目標を大幅に下回った
- ー : 外的要因により継続困難となった。

## 目標・ゴールの課題・改善策

2024 年度は 412 件であったのに対して、2025 年度は 466 件と退院時リハビリテーション指導料の算定数はやや増加はしたが目標の 500 件には達しなかった。原因としては 2024 度と同様に入院期間が短い患者に対する退院時リハビリテーション指導料の未算定が多かったことが考えられる。しかし心大血管リハビリテーションにおける退院時リハビリテーション指導料の算定率は年々上昇傾向が認められている(2024 年度 62.9%、2025 年度 68.6%)。算定率向上の理由としては毎年医師と理学療法士、作業療法士さらには看護師と退院時リハビリテーションの算定もれがないかどうかを各々でチェックしていくことが浸透してきていることが大きな理由と考えられる。今後も更なる多



職種での連携を深めて算定率の向上に努めていく所存である。又、昨年度の未実施が多かった循環器以外の心大血管疾患リハビリを算定している患者に対しての退院時リハビリ指導算定率は依然として低率であったことが継続しているため他科の医師にも退院時リハビリテーション指導料の算定への啓蒙活動が必要であると考えられる。